



平成 27 年 11 月 4 日

各 位

上場会社名 **株式会社NIPPPO**
 代表者 代表取締役社長 岩田 裕美
 (コード番号 1881 東証第1部、札幌既存)
 問合せ先 経理部長 吉村 泰次郎
 TEL (03)3563-6752

当社の親会社 **JXホールディングス株式会社**
 代表者 代表取締役社長 内田 幸雄
 (コード番号 5020 東・名証第1部)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 11 日に公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、同じく平成 27 年 5 月 11 日に公表した通期業績予想につきましても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想と実績との差異

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	170,000	9,500	10,500	6,200	52.05
実績値 (B)	166,031	12,761	13,620	8,451	70.95
増減額 (B-A)	△3,969	3,261	3,120	2,251	—
増減率 (%)	△2.3	34.3	29.7	36.3	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期 第 2 四半期)	181,293	13,352	14,333	9,100	76.40

(参考)

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 個別業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	7,700	8,600	5,300	44.49
実績値 (B)	117,826	10,241	11,067	7,195	60.42
増減額 (B-A)	△2,174	2,541	2,467	1,895	—
増減率 (%)	△1.8	33.0	28.7	35.8	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期 第 2 四半期)	133,731	11,311	12,191	8,013	67.27

2. 通期業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期 連結業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	418,000	34,000	35,500	22,000	184.70
今回修正予想 (B)	390,000	36,000	37,500	23,700	198.98
増減額 (B - A)	△28,000	2,000	2,000	1,700	—
増減率 (%)	△6.7	5.9	5.6	7.7	—
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	396,948	34,394	36,604	22,437	188.37

(参考)

平成 28 年 3 月期通期 個別業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	289,000	27,200	28,500	18,000	151.11
今回修正予想 (B)	274,000	28,500	29,500	18,600	156.16
増減額 (B - A)	△15,000	1,300	1,000	600	—
増減率 (%)	△5.2	4.8	3.5	3.3	—
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	287,055	28,585	29,984	18,889	158.58

3. 差異および修正の理由

第 2 四半期累計期間の連結及び個別業績につきましては、コスト削減や業務の効率化による収益力向上に努めた結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益（個別業績については四半期純利益）とも前回発表値を上回りました。

通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、売上高においては、連結・個別ともに前回発表値を下回る見込みであるため、下方修正いたしました。一方、各利益においては、第 2 四半期累計期間の実績を反映し、連結・個別ともに前回発表値を上回る見込みであるため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益（個別業績については当期純利益）を上方修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上